

CAPA 2017  
North Asia LCCカンファレンス@関西空港  
へのご案内

開催日: 2017年6月13日~14日



平素よりお世話になり、ありがとうございます。

インターモダルが総代理店を務めております、豪州の著名コンサルティングファームCAPA (Centre for Aviation)が主催する国際会議「LCC in North Asia 2017」(6月13~14日@関西空港)をご案内させていただきます。

本会議は関西エアポートがメインホストとなり、昨年の成田開催に引き続き日本開催となりました。北東アジアを中心としたLCCを取り巻く航空事業の環境や課題について、最新の変化をリアルに把握するとともに、関係者間の定常的なネットワーク構築・連携強化につながるものと期待されています。

会議においては、今後アジアの航空会社戦略、空港運営にどのような要素・視点が必要かなどについて活発な意見交換が行われる予定で、業界最新情報に基づく人的ネットワーク形成に役立ちますし、エアライン誘致を実務担当同士で直接交渉するRoutes会議と違い、よりエアライントップレベルへのDestinationの適性・魅力のアピールなど「誘致の前工程」のコンタクトができるという点で、空港及び関連事業者の方々にも大きな可能性をご提供できるものと考えております。

ぜひ航空業界に関わる多くの皆様に参加への参加をご検討いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

インターモダル株式会社 代表取締役 園山 玲子

# CAPA LCC2017の概要 — プログラム ①

2日間を通じ、北アジア及び日本におけるLCCと取り巻く航空業界の最新の情勢、課題についての報告やディスカッションが満載のアジェンダとなっております。

日本のみならず、北アジア各国（韓国、中国、台湾、香港、ベトナム、シンガポール等）のLCC、空港等から多くのトップマネジメントが参加します。

これら参加者とのネットワーキングの場も2日間を通じ提供されますし、インターモダルも可能な限りサポートさせていただいております。

なお右記のプログラム及びパネリストについては現在調整中で、最終確定版ではありません。今後出席者・議事進行が変動することがあることをご了解ください。

6月12日(月)		
15:30 ~16:30	新第二(LCC)ターミナル見学会 集合場所:参加者に別途お知らせ	
18:30 ~21:00	ウェルカムレセプション @日航ホテル関西空港 11F「ジェットストリーム」 開催時間中は随時入退場可能	
6月13日(火)		
8:00	参加登録受付	
9:00	CAPA Chairman 開会挨拶	CAPA Executive Chairman
9:05	主催ホストより挨拶	関西エアポートCEO
9:15	CAPA基調スピーチ 「北アジア・パシフィックにおけるLCCの今後の展望」 さらに複雑化、競争激化、相互連関する市場環境の変化はLCCに何をもたらす? (CAPA最新リサーチより)	CAPA
9:45	パネルディスカッション 「LCCが空港に求めるものとは」 空港はそれが持つ設備やコストにより、LCCにとってはアクセルにもブレーキにもなる。 政府対応や経営(所有)者が変わっていく中で、空港と航空会社はどのように協調・協業して 事業機会の最大化を図るのか? 空港経営者は、FSC、LCCの多様化したニーズをどのように満たすのか。	関西エアポート ピーチ、春秋航空 香港エクスプレス 等(予定)
10:45	コーヒーブレイク (ネットワーキング・スポンサー展示)	
11:15	パネルディスカッション 「日本におけるLCC今後の展望」 日本のLCCはもう多すぎる? 合従連衡はあるのか? 日本の航空市場は、航空会社と資本関係が交錯し複雑化している一方、LCCの市場シェア は他地域より低い。 今後LCCはどうやって市場シェアを拡大していくのか。最大の狙いは羽田の発着枠なのか。 そして今後の合併、新規参入、新たなアライアンス形成があり得るのか?	ピーチ、バニラエア ジェットスター・ジャパン 春秋航空日本 等(調整中) モデレーター: 東工大花岡准 教授
12:10	パネルディスカッション 「中国のLCC」 中国航空当局がLCCへの全面的な支援を行って3年が経過したが、まだその変化は徐々に しか現れていない。 何が障害となっているのか、航空当局が予測するLCCの成長は成し遂げられるのか。	春秋航空 9Air Lucky Air 等 モデレーター: 未定
13:00	ランチ	
14:00	パネルディスカッション 「韓国のLCC」 韓国のLCCの保有機材数は100機を超え、国内線のLCCシェアは40%以上、国際線はさらに シェアを伸ばしている。 しかしこれからさらにどこへ飛ばすのか? ソウル、釜山の発着枠は満杯になり、中国への チャーター便規制も行われるなど、現時点での影響は甚大とはいかないまでも、成長を目指 す韓国LCCにとっては好ましからざる事態である。 このような環境下で韓国のLCCは収入、イールドを向上させることができるのか。	エアブサン、チェジュ航空 イースター・ジェット ジンエアー、エアソウル 等 モデレーター: 未定
14:45	パネルディスカッション 「ITの活用がLCCのコモディティ化を防止する」 テクノロジーはいかにして流通面におけるLCCのさらなる成長をもたらすのか。 旧来型の旅行会社との新たな協業、新技術を駆使するオンライン事業者やOTリップのような 巨大事業者との協業などをITの切り口で考察。 ITが付帯収入を伸ばす手段としてどのように機能するか。	OTA、メタサーチ事業者 Air Blackbox IT活用に長けたLCC Amadeus (予定) モデレーター: Web In Travel
15:30	コーヒーブレイク (ネットワーキング・スポンサー展示)	
16:00	パネルディスカッション 「LCCと社用&プレミアム需要」 短距離区間を始め、最近ではビジネス旅客でも価格に敏感になりつつある。 新世代の若者は一つの旅行の中で仕事と私事をこなすなど、旅の区分が曖昧になることで 今までLCCの領域ではないと考えられていた法人需要においてもビジネスチャンスが生まれ つつある。 法人需要やプレミアムクラスの事業機会の増大が今後のLCCに成長をもたらすのかを考察。	エアアジア X スクート AMEX GBT 法人ユーザー? 等 (予定)
16:45	パネルディスカッション 「航空の発展と地域社会」 大手航空会社のように行政との関係構築やロビイングする力を持たないLCCや中小エアライ ンは、いかにして地域社会が航空事業を発展させるために協力してくれるように仕向けられ るのか。 誰もが安い運賃での旅行を好むが、それを可能にする環境整備がこれからも進むのか - 欧 州では新滑走路建設や運用時間が制限される風潮もある。 航空会社や空港は地域の人々に航空事業の存在意義を理解させ得ているだろうか?	アジアの空港会社(Changi?) JCABまたは地方自治体 LCC 航空評論家 等、調整中
17:30	第1日目 議事終了	
19:00	プレディナードリンク (会場前スペースにて)	
19:30 ~22:30	Gala Dinner (ホスト:関西エアポート) 詳細についてはホスト、CAPA間で調整中。	

# CAPA LCC2017の概要 — プログラム ②

## 参加登録のご案内

会議の前後には、1月にオープンした新第二ターミナル(LCC国際線)への見学ツアーが設定されています。

参加人数に限りがありますので早めにお申し込みください。

参加費は別表の通り、インターモダル経由の申込の場合、会議直前まで最優遇の「Ultra Early Bird」レートが適用されます。

氏名変更も当方でお受けいたします。

6月14日(水)		
8:15	朝食&ネットワーキング	
9:00	CAPA Chairman 挨拶	CAPA Executive Chairman
9:05	基調スピーチ「韓国におけるLCC及び航空業界の課題」	Air Seoul CEO もしくは Jin Air (予定)
9:30	パネルディスカッション「LCCにおける他者協業創造の挑戦」 LCCはもはやFSCの中の小島ではなく、FSCが行ってきたやり方を教訓として進んでいかねばならない。そのためにLCC同士、あるいはFSCともさまざまなプラットフォームで協業することが必要となっている。ただ現時点ではこのような協業には当初のコストがのしかかり目先の効果を得ることは難しいのが現状だ。	U-FLY, Value Alliance 及びLCCアライアンス加盟エアライン (調整中)
10:15	パネルディスカッション「LCCにおける機材選定」 エアラインにとって運航機材の選定は路線網の形成という要素だけでなく、旅客にどのようなサービスを提供するかを決める基本的な要素。LCCではさまざまな変化系があり、新造機vs中古機、リースor購入、親会社との機材共有or独自機材、広胴機vsストレッチャ狭胴機、さらに機材リース事業相手としての子会社戦略等、LCCにおける種々の機材ファクターを分析。	LCC各社(単一機材ポリシーvs複数機材) リース会社 CAPAアナリスト 等 (予定)
11:00	コーヒーブレイク (ネットワーキング・スポンサー展示)	
11:30	パネルディスカッション「日本におけるハイブリッド(地域)航空会社」 日本特有のハイブリッド(FSCとLCCの狭間に位置)航空会社は地域と連動した成長を進めているが、今後の成長戦略はどうなるのか?(路線拡大、国際チャーター・定期便の展望等)	スカイマーク、エアドゥ ソラドエア、スターフライヤー、FDA 等(調整中)
12:15	パネルディスカッション「日本におけるこれからの空港民営化」 日本では空港民営化(コンセッション方式)が本格化しつつある。(高松、福岡、北海道7空港一括、静岡、広島、熊本、鹿児島等々)民営化は何を変えてきたのか、これから変えるのか、アジアでの歴史も踏まえて今後の日本での展開を模索する。	関西、チャンギ 航空会社 今後のコンセッション応募者 アジアでの空港民営化事業者
13:00	パネルディスカッション「北アジアでの成長のための課題と展望(仮)」 次なる北アジアでのエアライン、航空事業の発展のために、誰がどのようなチャレンジと貢献をできるのか、創造的なクロージングパネルを実施予定	調整中
13:30	ランチ	
14:30	第2日目 議事終了	
15:00	新第二(LCC)ターミナル見学会	
~16:00	集合場所:参加者に別途お知らせ	

参加費	申込期間		
	4/16まで	4/17~5/16	5/17以降
インターモダルリンクから申込	\$1,995		
CAPAサイトから申込	\$1,995	\$2,295	\$2,495

① Gala Dinnerは\$200となります。

② 上記の表はエアライン以外の参加者に適用されるレートです。

インターモダル  
申込用URL

- ① <https://www.capaevents.com/199934?categoryid=1594758>
- ② discount code: **INTERMODAL-DEL** と入力
- ③ “Apply Code” をクリックし、登録～支払いに進んでください。

## スポンサーシップのご案内

昨年の成田でのLCC会議には、

- エアライン42社(100名超)
  - ハイレベルスピーカー55名
  - 航空関連業界人300名超
  - メディア10社超
- の参加があり、活況を呈しました。

アジアの航空関係者に接し、アピールする場として最適な機会ですので、各種のスポンサーシップへの参画を是非ご検討ください。

### スポンサーパッケージ

CAPAからの提供内容	Gold	Lunch	Pre Dinner Cocktail	Exhibitor	Blonze	Coffee Break	Breakfast	Corporate Table
スポンサー料 (米ドル)	\$20,000	\$15,000	\$12,000	\$10,000	\$8,000	\$8,000	\$8,000	\$2,000
会議参加パス(一般)無償交付	6人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	-
会議参加パス(エアライン)無償交付	6人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	-
追加参加パス 半額購入権交付	6人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	-
プレゼンテーションビデオ放映(2分間)実施	○	○	○	-	-	○	-	-
会社案内をデスク配置または会議パッケージに収納	○	-	-	-	-	-	-	-
会議配布資料へのロゴ掲載	○	○	○	○	○	○	○	-
会議ウェブサイトへのロゴ掲載	○	○	○	○	○	○	○	-
会議広告へのロゴ掲載	○	○	○	○	○	○	○	-
会議場での展示ブース設置(3m x 2m)	○	-	-	○	-	-	-	-
Gala Dinnerテーブル10人分	-	-	-	-	-	-	-	○

(注)スポンサー権を2社で分割共有を希望される方は事務局にお申し出ください。できる限り調整いたします。

### スポンサーシップ 申込み・問合せ

#### 【インターモダル株式会社】

申込・問合せは下記へメールにてご連絡ください。

[muto@intermodal.jp](mailto:muto@intermodal.jp)

所在地: 〒158-0082 東京都世田谷区等々力3-28-21-301

Tel: 03-6809-7058 Fax: 03-6809-7958

代表者: 園山 玲子 Founder & CEO

連絡先: [info@intermodal.jp](mailto:info@intermodal.jp)

### CAPA公式サイト

CAPA

<https://centreforaviation.com>

CAPA LCC 2017

<https://www.capaevents.com/ehome/199934/home/>